京城日報
朝刊
本日朝夕刊八頁

社説

大異動の意義

始政以來劃期とも稱すべき總督府の機構改革斷行に伴ひ、廳部局に亘る人事大異動は、十八日附をもつて發令された。今回の異動は本府二局長の退官があり厚生局の新設、二勅任事務官新設があつたとて、大異動となるは必然で、これが末端にまで及んだことは、單にそれ自體のみからみるも、結果的に官界の人心一新に多大の効果があつたことは否めない。

機構改革は、總督の非常なる英斷によつて行はれたものであつて、時局相應の態勢を完備したと勿論であるが、この機構改革を通じて、時局突破に對する總督のなみ／＼ならぬ決意がうかゞはれる。從つて、今次の異動に際し、上は局長から下は事務官に至るまで、人材の配置については特に愼重を期したであらうとは十分にうかゞはれる。機構の運用連絡は結局人にあるのであつて、勅任級の配置には可成りの苦心が拂はれ夫々の長所を生かすと共に、人の和と適

……

時艱克服態勢、遺憾なく發揮

未曾有の迅速さ

會期一杯で歴史的使命を終了

愈よあす閉院式を擧行

【東京電話】僅々五日の會期をもつて開かれた第七十七臨時議會は廿日をもつていよ／＼最終日を迎へることとなつた、わが國を繞る國際政局の危機、日米交渉の前途に對する斷乎たる所信と決意はこの間に餘すところなく一億國民の間に透徹し、政府、國民一體となつての時艱克服態勢は遺憾なく發揮された、政府提出の豫算案ならびに重要法案十三件は連日にわたる兩院の眞劍な審議により未曾有の迅速さをもつて處理され豫定通り會期五日をもつて全部兩院を通過成立する運びとなつた、すなはち衆議院は追加豫算案ほか二件、增税、米穀、産業設備營團、防空法など各案件をいづれも前日中に貴族院に送附し、廿日は事後承諾案二件と建議案二件が殘されてゐるのみ、議會は擧げて貴族院に移り豫算總會を初め各重要法案委員會が一齊に開かれ掉尾の審議を急ぐこととなつてをり、かくて兩院とも豫定通り會期一杯をもつて今次臨時議會の歴史的使命を終了、二十一日閉院式が擧行されることになつた

追加豫算案を可決

宮澤胤勇氏（同議）贊成演説に失言

衆議院本會議　意外の波瀾

【東京電話】十九日の衆議院本會議は午後一時四十五分開會直ちに日程に入り
一、昭和十六年勅令第九百二十三號（昭和十四年法律第一號兵役法中改正法律中改正の件）の承諾を求むる件（政府提出、貴族院送附）
を緊急上程、東條内相より提案理由の説明あり、直ちに委員附託となし次いで同じく貴族院より送附せる
一、臨時郵便取締令（承諾を求むる件）（政府提出、貴族院送附）
を上程、寺島遞相より提案理由の説明を行ひ、これまた委員附託次いで午前の豫算總會で可決した
一、昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案（第一號）
一、昭和十六年度各特別會計歳入

衆議院本會議、追加豫算案を可決＝電送

議會雜觀

眞摯な經濟閣僚の答辯

懇切丁寧、赤裸々な態度に好感

峠を越した議會は十九日の第四日に入つて政府提出諸議案の審議を急ぐこととなり、衆議院は本會議、委員會を一齊に開いてそれ／＼審議を進めた、即ち院に成立した臨時軍事費を除く三豫算は增税案を初め各重要法案を相次いで通過させ貴族院に送附し審議

志願兵制度概ね良好

徴兵制をも研究中

衆議院特別委員會　木村陸軍次官言明

【東京電話】十九日の衆議院特別委員會で松尾孝之氏（同交）より朝鮮における志願兵の成績および徴兵制度につき質問したるに對し木村陸軍次官より成績概ね良好、徴兵制度は目下研究中であるとの答辯があつた

木村陸軍次官（速記）今次事變勃發以來半島人は内地人と協力しまして一體となり活動してゐることはまことに感激に堪へないところで御座います、これらの兵士に關しましては昭和十三年朝鮮においては志願兵制度が實施せられまして爾來極めて順調に進行してをります、また志願兵の成績は概ね良好で御座います、徴兵制の實施に關しては將來その必要の起るべきことを考慮し目下研究中で御座います、なほ積極的に志願を勸めてゐるかといふ御話で御座いますが、採用人員の關係上必ずしも積極的にやらなくても充分にその所要を充してゐる状況でありますが、もちろん軍と致しましてはさらに積極的に總督府を通して志願兵を募集する考へで御座います

衆議院米穀增産對策委員會

外米杜絶するも食糧に不安なし

農相言明

【東京電話】十九日の衆議院米穀增産對策委員會は午前十時七分開會、前日に引つゞき質疑を續行北勝太郎（議同）河野一郎、平野力三（以上興同）の諸氏から質疑あり零時十五分一旦休憩一時再開
一、昭和九年法律第廿九號（米穀需給調節特別會計法中改正法律）中改正法律案
一、臺灣米穀移出管理特別會計法の特例に關する法律案
の採決を行つた結果政府原案通り滿場一致をもつて可決、午後二時散會した

【東京電話】十九日の衆議院米穀需給調節特別會計法改正法律案委員會において井野農相は仲田委員長の要求により昭和十七米穀年度における食糧事情に關し説明し、最惡の場合外米移輸入の杜絶を來しても國民に消費規正に對する心配へさへ出來てをれば決して食糧不安を惹起するやうなことはない旨次の如く説明した

本年度内地産米第二回豫想は第一回豫想に比してさらに減收と……

食糧配給公社（假稱）

設立準備進捗中

【東京電話】決戰態勢下非常時の食糧配給に關し十九日衆議院米穀增産對策委員會において河野一郎氏（興同）の質問に答へ井野農相は食糧配給公社（假稱）の設立が進捗中である旨次の如く説明した

貴院豫算總會

【東京電話】十九日の貴族院豫算總會は午後二時十五分開會
一、昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案ほか二件

貴院増税委員會

松隈主税局長
八條隆正子
裏松友光子
野村德七氏
賀屋藏相

貴族院本會議

大河内輝耕子

南總督歸任

南總督は、十九日午後六時四十八分、扶餘神宮御造營状況視察のため扶餘中學校青年修鍊所視察の後、京畿道知事、矢野京城府尹、國民總力京畿道聯盟部長らの出迎へを受けて京城驛着歸城した

【寫眞＝京城驛着の南總督】

宮澤問題、一時騷然

同交、興亞

【東京電話】十九日の衆議院本會議における宮澤胤勇氏の演説内容につき協議の結果

議同

【東京電話】宮澤氏の失言問題に關し議同では十九日午後四時半院内に緊急代議士會を開催協議の結果、宮澤氏の演説は今次臨時議會開會の使命にかんがみ眞に遺憾であり、擧國一致國内態勢を確立すべき際に不穩當であるとして幹部より

議同脱退

廿名に達す

【東京電話】十九日の衆議院本會議における宮澤胤勇氏の贊成演説内容に不滿ありとし左記十七氏は議同幹部に脱退屆を提出した

由谷義治、河上丈太郎、淺沼稻次郎、川俣清音、河野密、杉山元治郎、永江一夫、河合義一、菊地養之輔、井上良次、田萬清臣、塚本重藏、三輪壽壯、山崎釼二、池崎忠孝

【東京電話】玉野知義氏も宮澤問題から議同を脱退、これで脱退者は十八名となつた

議同脱退者

【東京電話】宮澤氏の失言問題に憤慨し河上丈太郎氏以下舊社大系

用語が拙かつた

議場を騷がせて相濟まぬ

宮澤氏、心境を語る

議員を解職

衆院事務局では諸委員理事

ソ聯兵越境

滿洲國抗議

熱意ある審議　欣快に堪へぬ

大野政務總監語る

西岡慶南知事

二十一日赴任

貴族院

衆議院

"來栖大使ご再び逢はん"

大統領語る

ワシントン特電【十八日發】ルーズヴェルト大統領

榮の四百四十三名
第十八回生存者行賞

【東京電話】長き邊りでは第十八回支那事變生存者論功行賞(陸軍關係第十五回)の御沙汰あらせられ廿日午前零時内閣賞勳局ならびに陸軍省よりそれぞれ發表されたが今回恩賞の光榮に浴したるものは北支の京漢、冀東地區ならびに京漢、津浦兩鐵道に沿ふ地區の警備に從事し不斷の匪賊討伐に活躍した飯沼(桑木)部隊および中支武漢方面、江南地區の警備を擔任しその間漢湖會戰、十四年冬季作戰などに參加、赫々の武勳を輝かした廿五部隊に屬する軍人(將官を除く)軍屬でそのうち金鵄勳章を授賜せられたものは新美二郎大佐(愛知)以下四百四十三名でさらに拔群の殊勳を奏せられて殊勳甲の御沙汰を拜したものは岩淵大門軍曹(福島)渡部大藏伍長(福島)の二名である

殊勳甲

功五旭七 軍曹 岩淵 大門 福島
功六同 伍長 渡部 大藏 同

一般將校

功四旭四 少佐 池田 省一 福島
同 旭三 中佐 北上 正次 香川
同 同 同 菅井 房吉 宮城
同 小綬 少佐 江原 享二 岡山
同 中綬 中佐 濱田十之助 鹿兒島
同 旭三 同 橋本 定壽 高知
功五旭四 少佐 山之口甫 鹿兒島
功四同 同 岩元 謙秀 同
同 小綬 同 坂元宗次郎 同
同 同 同 大西 精一 山口
同 中綬 中佐 板倉 靖雄 東京
同 小綬 少佐 栗村 兵一 山口
同 中綬 大佐 新美 二郎 愛知
同 旭三 中佐 中村 三郎 同
同 中綬 同 武信 純一 鳥取
同 旭三 同 川原傳太郎 愛知
同 中綬 同 石川 粂吉 茨城
同 同 同 仲田 一夫 福島
同 旭三 同 長江 昌 東京

增税案を可決
衆議院增税委員會

【東京電話】衆議院增税委員會は午後一時卅二分再開
一、酒税等の增徴等に關する法律案
一、昭和十六年法律第八十四號中改正法律案
一、昭和十三年法律第二十三號中改正法律案
の三件を一括議題に供し討論に入り森下國雄(議同)服部岩吉(同交)水谷長三郎(興同)の三氏それぞれ贊成の趣旨を述べ採決の結果いづれも政府原案通り可決同一時四十六分散會

衆議院增税委員會

【東京電話】十九日の衆議院增税委員會は午前十時二十八分開會

池本甚四郎氏(議同)購買力吸收の一手段とし富籤ならびに貯蓄キップ制を實施する意思はないか

松隈局長 目下考慮中であるが具體化する迄に至つてゐない

池本氏 間接税の增徴により値上を認められる課税物品に對する公定價格の改訂についての方針如何

松隈局長 原則として增徴税額に相當する價格の引上を認める

石黑物價局長官よりも同様主旨の説明あり

岡本實太郎氏(議同)政府が吸收を豫定してゐる餘剰購買力はどれ位か

これに對し賀屋藏相より別項の如き答辯あり

田萬清臣氏(議同)企業の合同による業者に對する税の減免に關する法案を次の議會に提案するか

賀屋藏相 來議會において所得税改正の際適當に考慮したい

西川貞一氏(議同)來年度における直接税の增税の際租税體系の變更を行ふか

主税局長 昨年税制改正を行つたので、現在の租税體系で差支へないと思ふ、今後經濟界の變動に際し個々の税率について考慮すれば足りると思ふ

佐藤洋之助氏(議同)鐵道特別會計の增收分はあげて一般會計に繰入れる方針か

寺島鐵相 鐵道特別會計の增收分および今後通信關係の料金が引上げられる場合、何れもこれを原則として一般會計もしくは臨時軍事費の方へ繰入れる方針である

かくて午後零時五十分質疑を終り一日休憩午後一時再開討議採決に入る

税收入增加は約廿億圓
賀屋藏相答辯

【東京電話】十九日午前の衆議院增税委員會において岡本實太郎氏(議同)は今次の增税に當り政府は吸收を豫定してゐる浮動購買力の推定額を質したが賀屋藏相は左の如く答辯、明年度租税收入增加額は直接税の增徴を加へ概算二十億圓に近いものとなる旨を明かにした

◇…賀屋藏相の答辯…◇

浮動購買力がいくらに上るかは答へられない、今次の增税はすべての購買力を吸收するためのものでなく國民の生活程度を出來るだけ切り下げその餘力を生産擴充資金に振り向けんとするものである、前内閣は當初租税收入と百三十五億の國民貯蓄によつて浮動購買力を吸收し得ると考へたがその後それのみでは浮動購買力を十分に吸收し得ないことが明かとなつたため、增税を考慮しかくて現内閣によつて增税が實現されるに至つたものである、政府はさらに近く貯蓄目標の引上げを行ひ極力浮動購買力の吸收に努めたい、今回の增税と煙草値上げのほか通常議會に提出する直接税增徴案等により合計約二十億圓に近いものが明年度租税收入の增加となつて現はれるものと思ふ

空襲保險の内容
日本商議建議案と大差なし
政府委員から説明

【東京電話】長谷川商工省監理局長は十九日午後の衆議院防空委員會において大橋清太郎氏(議同)の空襲保險に對する質問に對し大要左の如く説明した

商工省としては空襲保險に關する [illegible]

直接税增徴案
來議會提出

【東京電話】大藏省では今臨時議會に間接税を中心とする增税案を提出し直接税の增徴については今次の間接税の增收と照し合せ本年度歳入の内容と睨み合せたうへその增徴方針を決定、來議會に提案すべく目下考究中であるが、十八日衆議院增税委員會において松隈主税局長は渡邊玉三郎氏(議同)の質問に對し次回の增税に當つては直接税を中心とした增税案を提出するがその際直接税のみならず出來れば間接税についても合せて考慮したいと答辯して注目を惹いた

轉廢業者共助金
不足分は政府で補塡
岸商相言明す
衆院産業設備營團法案委員會

【東京電話】中小商工轉廢業者に對する共助金は一ケ年一業者平均六百圓を計上、現存業者および政府より折半支出することになつたが、十九日午後の衆議院産業設備營團法案委員會において猪野毛利榮氏(議同)の質問に對し岸商相は [illegible] 醵出してもらふのであるが、不足分を生じた時は政府において補塡する、轉廢業者に對する共助金一人六百圓支出といふことは數理との平均額を計上したので實際的には數字に固執せず實情に即して政府の共助金を支出する考へである

企業許可制
實施期日は意外に早い

價格と規格の調整に努力

【東京電話】公定價格制の採用とこれに伴ふ品質低下の傾向は低物價政策遂行上重大なる障害となつてゐるが、十九日の衆議院重要産業團體令 [illegible] 法案委員會で、井上良次氏(議同)の質問に對し神田商工省總務局長より商工省としては規格による公定價格制實施のため地方に價格查定委員會の設置を考慮中なる旨つぎの如く説明した

神田總務局長 物價決定の場合當該商品の品質を考慮し規格による公正なる價格を決定することは技術上なかなか困難である、政府としては價格決定の基本方針は國家の必要とするもの丶生産費確保を第一目的としてゐる、勿論公定價格を決定する際は品質と [illegible]

國策會社首腦
今後は民間より拔擢

日銀機能強化
條例の改正檢討
來議會に法律案提出

運賃引上には適當手當考慮

產業團體と國策會社の資金關係

一般的問題討議
ハル長官多く語らず

長谷川總督歸任

司政局成局式
來る二十日擧行

米の炭坑罷業
益々擴大

夕刊後の市況

借方・貸方

本府機構改革成るまで
臨戰體制即應へ
事務全般に綜合性加味

朝鮮總督府の臨戰體制整備たる機構改革は遂に成つた、司政、厚生兩局の新設、外事部、内務局の廢止など正に劃期的のものである、從來でも一局一部或は數課の改廢、新設はあるにはあつたが、今回のやうに機構が根本的に變革されたのは總督府としては恐らく空前絶後的なものであらう、新上雨龍産局長はじめ高等官以上約百名、局長會議出席者、知事の各過半數が動いてゐる、ではかくまでに大幅の機構改革の根據は何處に置かれてゐたか…

…◇…

司政局、厚生局の新設がそもそも臨戰體制即應の根幹をなしてゐる司政局誕生の理由としては内外地の一貫性、綜合性にある、殊に外務、拓務行政を握つて在外半島人の統轄指導の重責が課せられてゐるこれは本來内務局 [illegible] のだが半島の首腦 [illegible] に浮び上つたのに [illegible] の强化擴大が必然 [illegible] 關係で當然内務局 [illegible] 拓務、外務の仕事 [illegible] られてゐたまでゞ [illegible] 新設と同時に戻 [illegible] た形である

…◇…

司政局といふ局名は [illegible] を眞似たやうで面白 [illegible] 説もあるが外務の [illegible] 内務局といふ方が [illegible] いふ所からこの名前 [illegible] 生局は所謂厚生行政 [illegible]

厚生局誕生
臨戰體力增强へ
體育係、體協の去就注目される

總督府の機構改革は半島統治史を劃期的に飾して十九日成立、こゝに待望の厚生局は時代の脚光を浴びてめでたく誕生をみたが、このうちでも厚生局に屬して逞しく躍り出た保健課は決戰下、戰力增强に直緊する半島體育界を運營して銃後の體力政策や體育行政に期待するところが大きいが、こゝに注目を惹くのは、この保健課の實現に伴つての體育係と朝鮮體協の行方である

體育係は體協とゝもに現在學務局社會教育課に屬してゐるが、しかし體育を統治する保健課が生れた以上、體育係は表裏一體の關係にある體協とともに當然社會教育課を離れて保健課に移管、社會體育は保健課、學生體育は學務局で管轄するものとみられ、目下機構改組中の體協はこれが完成をみて保健課に移籍される模様である

右に對し眞崎學務局長は十九日左のやうに語つた

體育係と體協がどうなるかは未だ決つてゐない、石田新厚生局長の就任をみてから學務局で協議對策のうへ處斷しようと思つてゐる、いまのところ未だ決つてゐない

よき體育理解者
岡初代厚生局保健課長

初代厚生局長には體育に深い理解と熱意を持つ平南知事石田千太郎氏が就任、保健課長には平北警察部長岡久雄氏が半島體育界の輿望を擔つて就任した【寫眞=岡課長】

岡初代課長は九大出、學務局學務官、江原道警察部長を經て昨 [illegible]

體育係、體協移轉

蹴・協・大・勝
懇親籠球戰

中鮮個人庭球大會

初出場成績上乘
明治神宮大會敢鬪の跡を觀る その十一
弓道監督 增山凱一

京城日報

機構改革に伴ふ本府大異動

石田平南知事厚生局長へ
司政局長に鈴川氏
上瀧氏殖産局長に榮轉

白羆殿の屋台骨を根本的に搖さぶる劃期的大異動が十九日午前十一時六分發表された、總督府の人事は總督、總監を除いて正に歷史的な大異動である、卽ち高等官以上の動く者約百名、總督府局長會議出席者いはゆる"第三會議室メムバー"異動者十六人中九人、知事の新任、轉出者慶南北、平南北、京畿、江原の六人といふ大搖れである、過去のどの異動においても『第三會議室メムバー』と知事との過半數が動いたと云ふ例は無であつた、それだけに今回の異動の大ささと總督府當面の顏觸れの一大刷新ぶりが現はれるのだ、昨秋から下工作を開始した事務再編成に伴ふ總督府機構改革が漸く實を結んで内務局、外事部の廢止、厚生、司政兩局の新設、各課の新設改編など大弁審議室首席事務官との合作になる改革が見事に成つてこゝに帝國の外地第一線にある朝鮮總督府の臨戰體制がれたのだ、今回の機構改革に伴ふ大異動の主眼はまづ練達の士を適所に据ゑ事務行政上に統一性綜合性をる顏ぶれも概して若返つてをり全面的に青春に溢れた結果を齎した、あとはこの顏觸れがどこまで外地第一線と實力とを發揮するかに懸つてゐるよう

上瀧殖產局長　西岡慶南知事　山澤農林局長　高尾慶北知事　鈴川司政局長　高平南知事　石田厚生局長　白石平北知事　諏訪專賣局長　柳生江原知事　鹽田企畫部長　信原殖產勅任　松澤京畿知事　伊藤司政勅任

任殖產局長（二等）（本府内務局長）　上瀧　基
任農林局長（二等）　慶南知事　山澤和三郎
任司政局長（二等）　京畿知事　鈴川壽男
兼任中樞院書記官長
任厚生局長（一等）　平南知事　石田千太郎
任專賣局長（二等）（本府外事部長）　諏訪　務
任企畫部長（二等）（鑛山課長）本府事務官　鹽田正洪
任京畿道知事（二等）　專賣局長　松澤龍雄
任慶南知事（一等）　企畫部長　西岡芳次郎
任慶北知事（三等）　江原知事　高尾甚造
任平南知事（二等）　平北知事　高　安彥
任平北知事（二等）（外事部）事務官兼外務事務官　白石光治郞
任江原知事（二等）（會計課長）同　柳生繁雄
命殖產局勤務　陞敍高等官二等（文書課長）本府事務官　信原　聖
命司政局勤務　陞敍高等官二等（人事課長）同　伊藤泰吉
勅任官待遇（各通）
同　道事務官　古市　進
府尹　山下眞一
（平南警察部長）道事務官　下飯坂元
任事務官（三等）命司政局外務課長（庶務課長）專賣局事務官　原田大六

"新進を拔擢"
伊藤人事課長語る

劃期的な大異動…た伊藤人事課長は次の如く感想を語つた
「新進の拔擢と適材適所を念願において行つた、特に本府、外局、地方廳の交流を思ひきつてやつた積りだ、動かすについてはその人の過去の實績といふか親身になつて働ける部門の發見に相當苦勞した積りだ、信原文書課長の殖產局勅任事務官への轉出は信原君の手腕を充分買つたといへるだらう、辭めた慶北高尾知事は朝鮮製鹽工業會社へ湯村農林局長は朝鮮蠶絲會社へそれぞれ就くが穗積さんは内地へ歸つて當分悠々自適するといつてゐた」

任道理事官（七等）命平北在勤　同　守永…
任道理事官（七等）命慶南在勤　同　宮崎正巳
任道理事官（七等）命慶北在勤　同　木下一郞
任道警視（七等）本府屬兼京畿警部　德田正明
命咸北在勤
任郡守（七等）全北屬兼全北警部　金子泰東
命全北茂朱郡在勤

命厚生局勞務課長命厚生局會計課兼務（財務局稅務課長）事務官　山名酒喜男
命企畫部計畫課長（企畫部第二課長）同
命全北内務部長（江原警察部長）同　淺原貞紀
命平北警察部長（光州直稅部長兼庶務部長）本府　山村仁策

光る鹽田企畫部長
無難な一語に盡きる勅任級

◇……今回の機構改革に伴ふ人事異動は、南總督着任以來初めての大異動であつた。斯る大規模の異動が發表の日まで殆ど外部に洩れなかつたことは如何に南總督が愼重を期したかゞうかゞはれよう。
◇……厚生局、司政局の新設、内事局、外務部の廢止、これだけでも劃期的なものである。これに隨ひ湯村の兩局長各が勇退し、殖產、司政に各勅任事務官一名が設けられたのであるから、必然的に大異動とならざるを得ない。異動の跡をみるに勅任級ではまづ無難の一語に盡きよう。
◇……上瀧内務局長の殖產局長は早くから司政局長との噂が高かつただけに一寸意外の感を與へるが、…

榮轉各氏の略歷

上瀧殖產局長
鈴川司政局長
山澤農林局長
石田厚生局長
諏訪專賣局長
鹽田企畫部長
松澤京畿道知事
西岡慶南知事
高尾慶北知事
高平南道知事
白石平北道知事
柳生江原道知事
信原殖產勅任事務官
伊藤勅任事務官

臨時議會掉尾へ
重要議案殆ど終了
兩院とも最後の努力

【東京電話】臨時議會は開會以來すでに四日議事は連日極めて順調に進められて衆議院は十九日をもつて早くも重要法案ならびに豫算案の審議を終了、議會は緊張の裡に漸く終幕に近かんとしてゐる、この日衆議院は午前十時開會の豫算總會は前日をもつて質疑を終了したので、討論ののち昭和十六年度歳入歳出豫算追加案ほか二件の豫算案を可決、午後一時開會の本會議に上程、同日午前の委員會において可決の増稅、米穀、產業經濟の三法案とゝもに順次緊急上程してそれぞれ政府原案通り可決、直ちに貴族院に送付、貴族院は衆議院より送付のこれら諸法案および豫算案を委員附託として直ちに本格的審議に入つた、かくて衆議院は前日貴族院を通過した兵役法改正及び臨時軍人取締令の兩事後承諾案、防空法改正案の三件を議了し重要議案を全部終了し貴族院は最終日を來月に控へて掉尾の努力を傾注、慎重な質疑をつゞけた

兩陛下行幸啓
けふ大宮御所へ

【東京電話】天皇、皇后兩陛下には十九日午前十一時卅分御同乘の儀式自動車鹵簿にて宮城御出門大宮御所へ行幸啓あらせられ皇太后陛下と御對面、三陛下お揃ひにて御晝餐を召され午後も御歡談のうちに御團欒あそばされ兩陛下には午後二時大宮御所御出門、天機ならびに御機嫌御麗はしく宮城に還御あそばされる

李王垠殿下御歸還

【福岡電話】教育總監部附に御轉補の李王垠殿下には十九日午前十一時卅分内台臨時便機で台北から空路福岡飛行場に御歸還あらせられた、少憩の御のち再び空路東上の御豫定である

追加豫算案可決
◇……衆議院豫算總會

【東京支社電話】昨夜十時…

【東京電話】議會第一日にして卅八時間の臨事軍費を決し二日…

未だ結論に達せず
日米會談けふも續行

【ワシントン十八日同盟】第二次日米會談は野村、來栖兩大使、ハル國務長官間に十八日午前十時半から午後一時十五分まで行はれた、會談は十九日も午前十時半から續行される

【ワシントン十八日同盟】野村、來栖兩大使とハル國務長官の第二次日米會談は十八日午前十時半より午後一時十五分まで二時間四十五分にわたつて行はれた、十八日の會談は十七日に引つゞきあらゆる角度から日米關係の諸問題を論議したもので、しかも話合はなごやかな雰圍氣のもとに行はれたと信ぜられる、無論いづれとも結論に達するにはなほ會談を必要とし明十九日も會談を續行する旨を約したが、日米關係の重大局面に直面して双方とも眞劍に和協の途を見出さんとしてゐることは認められる、ハル長官の部屋の前には國務省詰記者のほか三、四名の記者が會談の終るのを待ちもうけてゐたが野村、來栖兩大使がハル長官の部屋から出て來ると記者團は『交渉は滿足な進捗を示してゐるか』と質問したのに對し來栖大使は「會談に關する發表はハル長官にまかせてあるからハル長官に聞いて貰ひたい」と答へそのまゝ國務省を辭去した、ハル長官の記者團會見は右會談後直ちに行はれたがハル長官は少し…

米紙報道は憂鬱
野村大使"希望"を語る

【ワシントン十八日同盟】野村、來栖兩大使が第二次會談のため十八日午前十時半國務省に來るや數名の記者は兩大使を圍んで質問を發したが野村大使は質問に答へて日米關係に關する米紙の報道ぶりは憂鬱に過ぎるが、自分は希望を持つてゐる
と語つた、野村大使は互ひに刺戟的言説を避けたいと希望を洩したものであるが交渉の經過については日米兩當局ともに沈默を守る主義でこの間若干の觀測が傳へられるにしても當局としてはいづれとも言明を避けるはずである

先づ英ソ向け
米船武裝順位

【ワシントン十八日同盟】中立法…

扶餘の南總督

扶餘神宮御造營奉仕の状況を視察する南總督（扶餘神宮御造營地の高台で樋口忠南道土木課長の説明を聽く南總督）

怠れば處罰

國民登錄

緊迫せる時局に對應して人的動員體制の整備強化を圖るため朝鮮でも、十一月一日から國民登錄の一部として年齡滿十六歳以上四十歳未滿の男子に對する青壯年國民登錄が實施せられ、本月末現在をもつて十二月十日までに

（一）從來の國民登錄をしてゐる者（二）徴兵猶豫を受ける學校に在學中の者（三）現役軍人或は免許を受けてゐる醫師

などを除く男子は職業身分の如何を問はず國家要員の尖兵として申告することになつたが、今回は申告者の範圍が極めて廣汎であり申告の持つ意義の重大であるところから京畿道では申告の萬全を期するため、調査期日を目前にして目下係員五十名を動員、調査員の指導訓練を行ひ本月末までに要申告者に對し洩れなく申告票を配付し來月五日ごろには申告を完了するやう準備を進めてゐる

從つて要申告者は調査員から配付される申告票に該當事項を記入して置けばよく、申告の方法は國勢調査に比較すればずつと簡單で出張旅行などにより十二月迄に歸れない者は出發前豫め申告票を書いておかなければならない、なほ今回の國民登錄に申告を忘れば國家總動員法によつて處罰されるから疑念や不審の點があれば府邑面又は調査員に問合せるやう當局では要望してゐる

『君と僕』試寫會

今夜明治座で開催

內鮮一體の眞精神を鼓吹し志願兵を主題とし半島愛國運動の鬪へを說いた朝鮮軍製作の映畫〝君と僕〟は、萬般の準備なつて多大の期待のうちに軍報道部主催のもとに十九日午後七時から京城明治座に官民二千餘名を招待盛大な試寫會を開催することゝなつた

當夜の番組は二部に分れ第一部は倉茂報道部長の挨拶、芥川少佐の製作經過報告、高井ツルエさんの舞踊「豆志願兵」出演者永田絃次郎氏の『君と僕』主題歌の獨唱、河津清三郎、大日方傳、文藝峰諸氏の挨拶あり、次いで第二部『君と僕』の上映に移ることゝなつてゐる

また廿日は午後七時から同じく城招待試寫會が行はれ、四日から明治座、城寶で同時に封切する

銃後半島の生きた姿を紹介

芥川少佐語る

朝鮮軍が國民文化運動に劃期的な役割を遂げる『君と僕』の製作を斷行、映畫の分野に鍬ぎかけ難事業を見事完成した蔭の功勞者たる芥川少佐は東上一切の折衝を終り十九日歸城したが完成に到るまでの經過を次の如く語る

各方面の絶大な支援により企畫以來九ケ月、十數萬の巨費、五萬五十人の出演を得て製作を完了機關問題で一時暗礁に乘りあげたが大乘的見地から完全な了解と逆に積極的な支援を受けるに到つた兵站基地朝鮮の姿と銃後半島の生きた姿をこの映畫を通し東亞共榮圏內廣く紹介することゝなつた、畏くも近く宮內省で各宮殿下の台覽を仰ぐ光榮をも擔つてゐる、廿日午後二時出演者の解散式を行ひ更にこの內鮮の出演者をもつて「君と僕會」を結成、半島國民文化建設にお互ひ御奉公することになつてゐる

仁川氣象臺の震度計も吹飛ぶ

宮崎縣沖海中に强震

十九日早曉といつてもまだ午前一時ごろ、宮崎縣日向灘沖合から附近一帶にかけて相當强度の地震が起り、仁川氣象台ではこのために震度計が破壞されてしまつた、目下各地の測候所で原因、被害等を調査取纏め中であるが、判明したところでは午前一時四十八分十五秒から約一時間以上にわたつて襲播された模樣で、仁川から南東八百四十粁の地點である、仁川氣象台では

『震度計のペンが飛び出してしまつたやうな始末で、何分微しかつたものとされますが、何分私の分らないことですが、開所以來初めてのことです、震源がひろければ陸上にも被害がつきませんし、海中地震でしたので大きかつたのは記録にはありません』

と〝海にをとる鯰〟にびつくりである

榮轉と惜別の交錯

白堊殿堂のあわたゞしい一日

決戰體制下の半島行政の戰時強化を狙つて總督府では十八日行政機構改革を發表、時局の脚光を浴びて厚生局と司政局が雄々しく誕生した、早くも十九日には之に伴ひ、更に質に大々的動員級の大異動を斷行した、厚生、司政兩新設局長の名前が發表さるれば離合集散は官海の常とはいへ穗積、湯村、西廣の半島官海の三長老が勇退、十九日の白堊殿堂は榮轉と惜別の交錯であわたゞしい一日であつた、新時局に登場した人と功なつて去る人々に感慨と抱負を聞く……

鍛練の總元締

初代石田厚生局長

【平壤支局電話】決戰下島半二千四百萬民衆の體位向上その外厚生諸般の總元締として、初代厚生局長に平南知事から拔擢された石田千太郎氏は將に適材である、氏は庭球をやり野球を喜しとくにラジオ體操は缺かしたことない熱心さ一日一回やらねば體の調子が惡いといふ、ことほど氏は體位向上へ身をもつて實踐してゐる、それなのにラグビーのルールも知らない厚生局長でねーと、十九日平南長官室で就任する新局長さんの堂々たる體躯はこれらの實踐の後を語つてゐるやうだ、産めよ殖せよの時勢にも叶ふて六人の子寶でもあり旺盛な體力は平南の道政にも反映し、三年餘の知事時代には平南の四大事業のうち昭和水利の復活、第二大同江改修の二大事業を實現させた、これらの功績も誇らずに道民各位の協力と支援の賜であると謙る言葉に氏の人柄をうかゞふことが出來よう

平南在任三年三ケ月、建設に邁進する平南の姿をみて私は限りない滿足をもつて、各位とお別れすることの出來ることを衷心から喜び且つ感謝致します

一抹の寂しさ

諏訪さん專賣局長へ

外事部長から專賣局長へ榮轉した諏訪務氏は、敗軍の將兵を語らずだよーと冒頭して次のやうに語る

頭に思ひがけない椅子を預けることになつて恐縮してゐる、外務省本府、外事部と多年に亘り外事務ばかりに沒頭して來た自分であるので、知識も經驗もない新しいポストにつくことは顧みて衷心忸怩たるものがある、しかし自分は與へられた大任を完うに三年勤め たがそもそもの振り出しが專賣局書記、兼大藏屬といふのだから專賣局には縁のないわけでもない、たゞ長年わが事のやうに可愛がつて來た外事關係を離れることは一抹の寂しさなしとしないが、顧つて思へば專賣行政は本府の財源涵養の上にも寄與するは勿論、一般大衆生活にもまた重大な影響あることを思へば寂しさを思つてゐるよりも今後どうやつて行くかといふことで一杯だ

心魂を打込んで勤める

電撃的な昇進ぶり

鈴川初代司政局長語る

各知事鈴川さんがその手腕を總督[illegible]に買はれて初代司政局長の椅子に坐つた、京畿道知事を勤めて僅か一年半足らず電撃的榮進といへよう、この間鈴川さんは官公吏の七割異動、行政基部組織の改革、都市における總力運動の徹底、農村における重點主義による生產擴充の推進と功績のみるべきものが多い、殊に斷行を實踐に移したのも鈴川さんであり下意上通機關として産業振興會を開いたのも鈴川さんであつた、道內農村を隈なく行脚して實情を踏査しその都度講演會を開いて農民の啓蒙に努めた努力は大いに買つてよい、また施設としては防空施設の完備、浮浪兒收容所としての仙遊學園の設立、中等學校生徒の訓練機關である綜合國防訓練所の設立、それは何れも鈴川知事の殘した大きな足跡である、如何にも鈴川さんは近來の名知事であつた、其鈴川さんが本府の行政機構改革で誕生した司政局の初代長官に榮進した十九日朝鈴川さんは皮肉にも初めて使ふ應接間で最後の言葉を次の如く語つた

今回轉動を命ぜられ專心奉公、心魂を打込んで勤めたいと思つてゐる、後任に人格識見の卓越した池澤氏を得たことは中央道として眞に慶賀するものがある、司政局長としての抱負はと聞くも何もない、只上司の指揮方針に從つて專心奉公するのみだが仕事としては地方行政にしろ土木、拓務、外事、總力運動にしろ極めて行政上重要な事ばかりであるので自分の如き未熟者がよく成し得るところではないと考へてゐる【寫眞＝鈴川さん】

朝鮮官界に廿八年

〝金剛山も知らぬよ…〟

感慨を語る穗積前殖產局長

朝鮮官界に活躍すること廿八年、殖產局長として九年の長さに亘つてその人格、卓見、溌溂として或はまた、洋灰統制、石油統制、工場誘致、石炭合同、茂山鐵山の開發など一流の押しと粘りで成功を收め名局長を謳はれた穗積前局長は躍進朝鮮產業に赫々の業績を殘して退官することゝなつたが、役人は勿論財界、業界でも穗積さんと別れることに肉親以上の愛惜を感じ切々たるものがあり發令とゝもに穗積さんは局長室でいつもの滑稽な言葉で退官の感慨を左の如く語つた【寫眞＝穗積前殖產局長】

これほど永く厄介になつてゐると淋しいには淋しいが早く辭めた人のやうな淋しさはない、むしろ有難いと思ふ、朝鮮も足かけ廿八年になる、私が來た翌年には本廳舍の裏で始政五年共進會があつたが、出品は農產一本であつたが、之が博覽會の初まりでしたらう、京畿道の牛が一等をとつたが、それが平南產を貰つたとかで問題になつたりして實に野趣豐かなものであつた、朝鮮で一番愉快だつたことは外事課長の三年間で內地、滿洲を飛び步き朝鮮救濟に自由に働き廻つたときである、私は長い間全鮮を步き廻つたがまだ金剛山に行つたことがない……私が殖產局長になつた時は商工課は十三人くらゐしか人がゐなかつたそれが現在では鑛山產額が當時の十數倍、工業產物、水產物がそれぞれ五倍以上に達してゐる朝鮮の將來は飽まで地下資源と電力開發を以つて進まなければならない、それには機械工場もぐんぐん起ち上つて貰はねばならない、朝鮮の鑛物資源は非常に多いが品位が悪いから之を利用するためには科學の力で生產費を減らすことを考へなければならない、將來は科學朝鮮として起ち上つて貰ひたいと思ふ永い間だ、人生の半分を朝鮮で送つた私は今後どんな仕事でもよい、朝鮮のための仕事をやらしていたゞきたいと切望する

なほ氏は二十六日〝あかつき〟で京城發、途次大阪、伊勢に立寄り三十日頃東京着の豫定である

池田の甘栗

お米と暮す二十四年間

湯村農林局長退陣の辯

戰時體制下の食糧對策に不動の礎へと豐年祭を齎す運動に湯村前農林局長は二十四年の朝鮮官界生活におさらばをしたが

私が朝鮮に來たのは大正七年一月であつた、その當時の部内は僅か現在の滿洲か支那に行くやうな詰襟非常なものがあつたね、驛舍に辿り着いたとき百姓だけはやりたくないと思つたが辭令を貰つて見ると農商工部で之が農業に關係を持つた始まりで爾來十六年間農林行政に關係し續けてきたが、官を退くこともに大方の協力を得て豐年を果し得たことは感謝に堪へない、殊に豐年祭りのお祝ひな賑かな唄聲に送られて退官することは私として眞に時機を得たものとして喜ばしい限りです

覺悟は出來てゐる

穗積さんを失ふ事は寂しい

新殖產局長上瀧氏談

赤帽はお拂ひ箱

皆勞、ホームに進出

皆勞運動はホームまで進出、お陰で京城驛の赤帽さんに失業が出來た

『おいツ赤帽ツ、何してんね、わいの荷物とこや？』

になつて困ります、車內持込みは極く少量の手廻りだけにして下さーい』

驛員の再度の放送で昨今の京城驛ホームにはトランクを屆けて……

〝はぜ釣りはやめぬよ〟

勇退する西廣本府衞生課長

最善の方法

文書課長美根五郎氏

十九日朝の氣象概況

文化

兒童觀の問題 (2)

大石運平（京城童話協會幹事）

（山村耕花氏筆）

兒童は大人への準備以外何ものもないといつた前の觀方に對して十九世紀後半の兒童研究家達によつて所謂『兒童の世界』の發見が行はれた。

兒童は大人とは全く別個の存在である。子供として、肉體的にも精神的にも大人と全く異つた特質法則をもつてゐる。兒童の世界は大人の世界から全く切りはなす事によつて特徴づけられるものである。といつた所謂兒童中心主義といつた觀方である。

これこそ兒童の世界の發見であつて、前者と比べて著るしい進歩であり、『二十世紀は兒童の世紀』とさへ稱へられるに至つた。

これは全く子供本位の考へ方であつて『要求の如くならずんば天國に入る事を得ず』式に、子供のありのまゝの生活が禮讃された。

從つてこの見方による理想の子供は『子供らしい子供』であつて、この自由奔放、天眞爛漫な兒童期を滿足させてやること、これが子供への最上の奉仕であると考へられた。

從つてこの考へ方では『子供のよろこぶもの』を與へてやる事を最上と考へ童話書でも繪本でも子供のよろこびさうな興味本位のものゝみが氾濫し、子供におもねる、子供のきげんをとる底の出版が多かつた樣に思ふ。話し與へる童話の如きでも、よい話としての第一條件には『兒童に愉悦を與へること』があげられ、何でも面白くなくてはならないと思はれたものである。

『それでは大人になつてから、たいした人間になれまい、困るであらう』と心配する向もあつたが、それには子供時代子供らしく送る子供こそ大人になつてから大人らしい大人になる』ときいた。子供は自然と大きくなつて行く、從つて毎日々々の生活を充實させてやれば、彼等はひとりでに立派な大人になると考へるのであつて、これは一種の自然主義的な考へ方である。而もこの觀方においては、子供を全く大人の社會との斷絶に

おいてみないで、全く隔絶した特殊な社會であると見、子供の生活は『子供』だけによる生活であると見る點から、一種の個人主義であるとも考へられた。

とにかくこの觀方では子供の、子供らしい、ありのまゝの自由な現實生活が最も尊いのであつて、これが世を風靡した時は、子供の無造作なむき出しの一言にも驚歎の涙を流したほめ方をしたものである。この子供の生活をまつすぐにみつめることは、たしかにこの觀方のよい一面であつた。しかし、これ以上に一歩も出なかつたのが大きな缺陷で、この觀方には現實はあるが理想がなかつたといへよう。『子供は斯く〳〵のもの』に止つて『斯くあらねばならぬ』といつた所がない。向上發展とか、指導育成とかの手を加へやうがなかつた樣に思ふ。

今日でも『家では子供本位でして…』の美名にかくれて、理想のない、生活の方向を持たないなげやりの子供の育て方を屢々と行つてゐる家庭がありはしまいか。これはもう古いと思ふ。子供の生活であれば、何でも尊いもの、立派なものは一概にいへない。大いに伸ばすべきものと斷然抑止すべきものとがあらう。こゝに或る理想に照らして、伸ばすべきは大いに伸ばし、抑止すべきは抑止して行くべき育行が生れる。

これのない子供の生活は、進歩も發展もあり得ない。自己滿足的な低級なものゝ連續に了つてしまふではあるまいか。

明滅燈

宣傳への制限

既に自動だけでも『馬』とか『指導物語』のやうな總督府推薦の國民映畫があるし、今夜『わが愛の記』や『八十八年目の太陽』などと戰時下國民の一人でも多くに感て貰ひたい映畫が

吾々の興行の對策になるわけであるが、かうした映畫界の眞摯な意氣込みに對し無理解者に興業師の弊にといふやうな傳統感で興行直際に商慢の制限が加へられる矛盾を如何に是正すべきか、當局者にも考へて戴きたい吾々の悩みである。

（東寶映畫朝鮮配給所興行課 林敬太郎）

けふから三つの展覽會

齋藤龍江個展

日本美術院における花鳥作家齋藤龍江氏が京城會長松本誠氏等の肝煎りで十九日から廿三日まで三越五階第一畫廊に近作展を開いた

同畫伯は朝鮮とは關係も深く過去三回に亘つて來鮮したことがある關係で松本氏等と知遇が出來たものだが、東京美術學校卒業後文部省囑託として歐米に渡り日本畫の獨自會の講師となり後米國シンシナチ大學では日本畫の講座を持つたこともある

美術院に關係したのは中村岳陵、前田青邨、山南風、郷倉千靱氏等友人の勸誘により最近からのことだが、今年の院展覽會には『山の春』を出して好評を博してゐる、今度の出陳は約卅點、素直で色彩の豐かなところが花鳥畫として成功してゐる【寫眞＝『春曉』】

大東南宗院展

今度帝國藝術院會員でありわが南畫壇の大御所である小室翠雲氏等によつて日滿支一體の大同團結を見た大東南宗院が主催となり、十九日から廿三日まで京城丁子屋四階畫廊でその中堅作家の南畫展が開かれてゐる

御大の小室翠雲氏特別出品の絹本尺八横物『長春』のほか水田竹圃、矢野鐵山、高須芝山、小川千甕、古瀬晴嵐氏等卅餘氏が出展、いづれも南畫壇の中堅どころばかりである【寫眞＝矢野鐵山氏の『秋光』】

金煥基氏洋畫個展

半島洋畫壇の新人で二科會や白日展で認められ、現に白蠻會同人である金煥基氏の作品展も十九日から廿日まで同じ丁子屋の四階小畫廊で開かれたが出品は金剛山風景を主とした廿數點に及んでゐる

京日歌壇

朝鮮風物・生活・事變雜詠　吉井勇選

連日の猛暑にあへぐ事務室のバルコンのペンキ既にさびたり　三陟　西元桂爾

微熱ある友をベットにやすませて氣やすくわれは林檎むきけり　京城　清水光春

防人か遠く故郷をおもふ夜に似たる今宵の月とおもひぬ　同　霜月雨戸

何となくあせり氣味なるこの頃の君かこゝろを淑しやと思ふ　同　山口智子

老いぬれどわが父母は健やけく陽をまはゆけに立ちて笑ますも　同　若林春子

わが病ゆゆしきに似たり眞夜中にいとしの子の頭さぐり撫で見る　網大　柳ヒデ子

病床くなれば器の香なつかしく設計室に寫圖にいそしむ　元山　大野繁夫

朝鮮風物・生活・事變雜詠　毎月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚一首以内認め京城日報社學藝部『京日歌壇』あてのこと

推薦二席 "科學する"

朝鮮美術展覽會（無鑑査）　澁谷佐市

子を持つ親の一つの企圖

澁谷佐市

今のところ田舍ではよい畫材はなく、ともすれば仕事に追はれ、最近は兎角怠り勝ちでありました。此の度お勧めに依りまして出品させて戴きましたもの、到底御期待に添ふ様なものではありませず誠に申譯ない事と思つて居りました。幸ひ其の點を御諒恕下され、時局下子を持つ親として、科學する學童の表現を企圖しました拙作が、圖らずも推薦の光榮に浴しました事は誠に意外でなりません。

もじり外套かエプロン着用

濕度を逃がさぬ法

◇冬の衣類は氣孔の多い織目のものがよく、これは保溫の第一要素ですが、その點スフは氣孔が少い上に水分を多く含んでゐる關係上、熱を吸收する速度が早く、いひかへると體溫をあげるために澤山の熱量が要る譯です。それ故スフは保溫の點からいへばまだ幾分かの缺點があるわけですから、
◇肌着や下着にソンワリとした氣孔の多いものを着て、上へ羽織るものを目のつんだものにするのが適當でありませう。これは氣孔に淀んだ細かい空氣を逃がさない上手な方法で、たとへば荒い編目のジヤケツを中着に一枚着ただけでも隨分暖かく感じるのもこの理由から來てゐます

◇これからの嚴寒期を迎へて燃料不足を補ふには、やはり衣服の保溫に重點を置かねばなりませんが從來の和服の下着ではとても防寒にはなりませんから、洋服の下着の樣なものを工夫すること、また風の入り易い袖口は働くためにも便利な元祿袖か、もじり袖にすること、また台所等で長時間立働く場合は、板の間に手製のマットか古着表等を敷いて、タキマ風を防ぎ、毛織地の古いもので足袋カバーを作り使用します

◇またこれから羽織の季節ですが、これはコート式の上つ張りを使ふが、家庭にゐる間はたへずエプロンを使用してゐた方が暖かです、羽織を着てゐる時になると溫かで、空氣のふくらみが身體の周圍を包むやうに巧く出來てゐますが身體を動かすとすぐ逃げて仕舞ひます

◇そこへゆくとエプロンは動作によつても熱は逃げない點、銃下の主婦は今冬はエプロンがけで大いに頑張らなければならぬ時、保溫にもなるエプロンの使用をおすゝめします【京城第一高女家政科教室より】

冬への備へ　衣服の卷

家庭メモ

毛糸編物の丸染め

色褪せた毛糸編物を丸染めするとき、そのまゝで染めますと斑になるものです、それは褪色に斑があるためですから、この褪色を平にしてから取かからねばなりません、それには良質石鹸液又は新洗濯液を普通の洗濯より濃く作り編物をたつぷりと浸してよくもみ洗ひし、ゆすぎを充分にし（最後の濯ぎはお湯でします）このまゝ干さずに水に浸しておいてすぐ染液に移しますと上手に染ります。

調理

魚の蕪蒸し

白身の魚でしたら何でも結構です、三枚に卸し一寸角位に切り生醤油に一時間位浸してから蒸し茶碗に入れその上に卸した蕪を茶碗の六分目位まで入れ、充分に湯氣のたつた蒸氣で十二三分蒸します、この上に清汁より一寸濃めに味加減しくず引きとしたあんをたつぷりかけて、ごく温い中にすゝめます

今晩のラジオ

▲六時支那名劍物語（東）馬場伯　▲六時卅分管絃樂（城）レコード▲七時卅分われらのうた（東）日本放送管絃樂團▲七時四十分箏組曲（東）歐上龍子▲八時新箏曲（東）川本晴朗外▲八時十分戰線演劇（東）佐伯秀男外　▲八時卅分清元（東）清元志壽太夫外▲九時時局談話（東）太田正孝

科學

死後の毛や爪

人の死後、毛髮や爪が伸びるといふことが古くからいはれてゐるがそれは事實でないことを米國醫學協會雜誌は發表してゐる。しかし死後は皮膚や軟かい組織が收縮するからその爲に毛髮が皮膚の表面から幾分拔け出して伸びたやうに見えることはあり得る。鬚なども死後二十四時間から四十八時間もたつ間には死の直後よりも顏面から著るしく突出するから、いかにも伸びたやうに見えるのであると同誌は說明してゐる

京日文化映畫劇場

廿日からの新番組

1 朝鮮ニュース（第三三號）
2 日映提供 文化映畫 麻の話
3 漫畫 ミツキーの舞台裏
4 滿映通信（一四二號）
5 大毎東日 映畫讀本 國土防衞の歌
6 釣一年（川釣篇三卷）
7 日本ニユース（第七五號）

愈よ今明晩 "君と僕"

特別招待試寫會

朝鮮軍報道部製作、內鮮一體映畫『君と僕』はいよ〳〵完成、京城においては十九日夜七時から松竹明治座、廿日午後八時から京城寶塚劇場でそれ〴〵軍報道部主催軍官民關係者を招いて特別招待試寫會が開かれるが、當夜は國民儀禮の後、倉茂軍報道部長の挨拶、芥川少佐の解作、脚給、上映に關する經過報告あり、不二舞踊研究所の高井晴惠さんの舞踊『小さな志願兵』永田絃次郎君の獨唱『君と僕』主題歌及び『君と僕の會の歌』（作曲李興烈氏）出演者代表として大日方傳、河津淸三郎、文藝峯三名の謝辭があつて、いよいよ映畫『君と僕』の映寫に移る筈である

なほ廿日の城寶における特別招待試寫會も同樣の順序で開かれるが、當夜は倉茂報道部長の挨拶だけはないことになつてゐる

不連續線

ラジオ

夕方、家に歸つて食事に就いて、『おい。ラジオのスヰツチを廻して御覽』といつたら、娘が、『小國民の時間ですよ』と、いつた。『何でもいゝから』初めは、聞き流してゐたが、何か戰線の勇士の物語りらしかつた。母に早く死別し、父の手一つで育てられた兵士が、故郷に殘して來た酒好きの貧しい父のために、貯へた小遣ひ錢を送らうとしてゐると、その孝心を傳へ聞いた乃木將軍までが、幾らかの金を惠み與へるといふ話だつた。『おい。聞いたか。孝行な兵隊さんぢやないか』『お酒のお金を送るからでせう』台所から妻の笑ふ聲が聞えた。『だまつて聞くがいゝ』晩酌の杯を重ねながら、いつからともなく、その話に惹きつけられてゐると、やがて村役場の手を經て、その金が司令部から父親のもとに送られて來た時、そこに添へられてゐた手紙を村長に讀み聞かされた父親は、急に戰地の方を伏し拜み、伜への申譯と將軍への感激に、斷然禁酒を誓ふといふ結末だつた。『お父さま。聞きましたわよ』娘の聲だつた。『うむ。聞いたか。さうか』と、いふより外なかつた。

樂専の演奏會

廿一日府民館

金誠鎭氏を院長に半島の音樂教育に盡してゐる京城音樂專門學院では來る廿一日（金）午後七時から府民館で秋季音樂大演奏會を開くことになつた

合唱は樂專合唱團、バリトンは韓甲洙、ピアノの鄭士龍、テナー殷何守、平間文壽、ソプラノ李觀玉、ヴアイオリンには金裁勳、三重唱は李觀玉、崔昌殷、韓甲洙及び李興烈、李鍾鎬、安聖教、四重唱は崔昌殷、殷何守李升學、韓甲洙氏等でピアノ伴奏には平間百合子、趙玉潤、李興烈氏があたる

なほ會員券は一圓、學生は五十錢である

朝映募集のシナリオと梗概

朝映では映畫脚本梗概を募集中であつたが、去る十日の締切期日までに應募した作品數はシナリオ六十七篇、梗概卅五篇の多數でシナリオ不足を叫ばれてゐる斯界に皮肉な現象を示したなほこの應募作品は安夕影、李泰俊、白鐵、徐光霽、李軒求諸氏が審査し優秀作數篇を本月末頃までに選出することになつてゐる

次週番組

城南映畫劇場（廿四日から廿六日まで）▲新興東京作品沼波功雄監督、飯田蝶子、淡島みどり、加賀邦男主演『瀧子オタクシー』▲新興京都作品、押本七之輔監督、羅門光三郎、南條新太郎、松浦妙子主演『緣原の長七』

喜樂館（廿四日から廿八日まで）▲日活京都作品『月形龍之介、大倉千代子主演『無明有明』大會